

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先0282-22-7079(増田)

Eメール oochirasanroku9jo@yahoo.co.jp

HP：太平山麓九条の会で検索



170号

2021年8月27日発行

8月は平和を守り平和を受け継ぐ月！



8月15日は敗戦日であるとともに、悲惨な戦争から解放された日です。15年にわたる戦争は日本人の軍人軍属などの戦死230万人、民間人の国外での死亡30万人、国内での空襲等による死者50万人以上、合計310万人以上（63年の厚生省発表）、アジア・太平洋各国に2000万人以上の死者をふくむ史上最大の惨害をもたらしました。

戦争する国から戦争をしない国へ、人の命が粗末にされる国から、人権を大切にする国へと変えていったのは、現憲法です。それから76年。今、憲法が、特に9条が危険にさらされています。安保法制の改悪で、9条が骨抜きにされたと言う人もいます。台湾有事になったら、日本は、米中の戦争に参戦させられる状況にあるという分析もあります。こんな状況だからこそ、戦争放棄を規定した9条を守り、生かすことがとても大切です。

8月は、テレビでも、新聞また自治体でも、戦争体験を振り返る企画が多くなっています。直接戦争を体験した方が少なくなる中、どのように体験を継承するかも大きな課題になっています。先人の犠牲の上に実現した平和を今後も守り、継承するために、「9条守れ！」「核兵器禁止条約に参加せよ！」との声を大きくしていきましょう



スタンディング寸描

毎月、9・19日にスタンディングを実施しています。9日は市役所前、19日はイオン・カワチ前、生協前、ケイズデンキ前、と立つ場所を変えて30分間実施しています。

時間になると、ひとりふたりと参加者が集まってきます。メインに掲げるのは「憲法9条世界の宝」のプラカード。手作りのプラカードに掲げる人も。

スタンディングをしていると、いろいろな方に出会います。車の中から、手を振ったり、会釈したり、クラクションを鳴らすなどして連帯の合図をしていく方がいます。ある時など、車がずっと寄ってきて止まり、車内にいた方からカンパをいただいたことがありました。

市役所前では下校途中の小学生が興味津々で「何をしているの？」と聞いてきたり、散歩の途中で声をかけてきてくれる方も。

軍隊には行きませんでした。そこで働いたと話していました。

用で、日光の精銅所に行かされた、

かもしれません。

父に赤紙が来た時、父は重病の床

についていました。今では考えられないことですが、当時は、どんな状況でも指定された日時までに指定された連隊に出頭しなければ、「懲役拒否」とみなされて、犯罪者になってしまいます。

今、この話を書こうとして気づいたことですが、当時、父が何歳で、

独身だったのかどうか、何の病気だったのかを聞きはぐりました。

病床にあった父はどうしたかという

と、医師と看護婦、付き添いとして

叔母さんがついて、ハイヤーを仕立てて、指定された連隊に出頭した

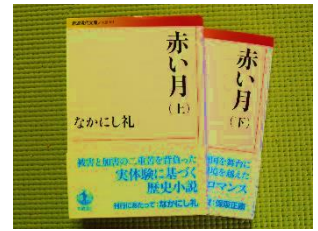
出頭・即、除隊の父の赤紙

板橋千代子 記

◆スタンディング 9月9日(木)市役所前 9月19日(日)イオン・カワチ前 午後4時～
◆スタッフ会議 9月9日(木)・9月24日(金)市民交流センター 2階会議室 午後1時半～

『赤い月』と「リメンバー」

元井 茂 記



作家・作詞家のなかにし礼（2020.12.23 死去 82歳）の小説『赤い月』と楽曲「リメンバー」には通底するものがある。戦争や原子核使用が引き起こす加害と被害の視点がそうだ。

『赤い月』は本人の満州からの引揚げ体験を軸にしての日本政府と軍部への被害意識と、中国で日本軍が行った三光作戦《殺しつくす・焼きつくす・奪いつくす》という歴史的事実への加害意識が根幹となっているが、戦争そのものの悲惨さという括りだけでは表現し得ないものがある。主人公波子と恋仲になった諜報活動に任じた軍人氷室啓介との会話を通して作者は語っている。

「国家だけが化け物になるわけではない。国民も一緒になって化け物になっていく。……それが愛国心のからくりだ。」

愛国心が敵への加害意識となり、その破綻が政府や軍部への被害意識となる。直接目にし、体験した作者の鮮烈な負の記憶であり、記録となっている作品だ。戦争はことごとく化け物を生む。

「リメンバー」は『赤い月』に感銘を受けたオペラ歌手佐藤しのぶさんの「核兵器を否定し、平和を願う歌を作ってほしい」との要望で作られた。その過程で2010年12月にオノ・ヨーコさんの発言を新聞で知り、共鳴感動したと述べている。

「ノーモアという前に、世界の人々に原爆の悲惨さを思い起こしてほしい。リメンバー・ヒロシマ、ナガサキね」

この言葉に後押しされて曲名は「リメンバー」になり、楽曲は完成した。発売待ちとなったところで2011年3月11日東日本大震災に遭遇し発売は頓挫したが、安全神話のほずの福島原発が事故を誘発して放射線の空中拡散と汚染水の海洋流出が現実となり、原発による被害意識にとどまらず日本の国が原子核の加害者となったことを自覚するに至り、それだからこそ楽曲「リメンバー」の発売を決意した、と日本記者クラブでの会見（2013.11.12）で述べている。ヒロシマ・ナガサキを繰り返さない忘れないこととフクシマも繰り返さない忘れないこと、この二つの姿勢で核なき世界に向けて「沈黙にさよならしよう」「行動と勇気で生まれかわろう」（歌詞より）とメッセージを打ち出した。

なかにし礼少年の満州引揚げ体験から中国への加害意識と理不尽な政府と軍部への被害意識を正直に書くことが自分の務めと断じて『赤い月』を著し、福島原発事故で原子核による被害者と加害者となった今、人間の尊厳のために核なき世界を目指して子どもの立場から「リメンバー」のなかのコーラスに思いを重ねた。



♪ 愛と平和 自由を / 私たちにください ♪ （子どもたち12回くりかえし）

非戦と非核のために私たち自身が操られる人形のような“化け物”になってはならない。なかにし礼の二つの作品は人類へのそして若者や子どもたちへの遺言と受け止めたい。

非戦と非核で加害も被害もない世界のために【沈黙 NO 行動と勇気 YES】

◆ビデオ「戦争しない国日本」の視聴会を今回は中止に致しました。

8月22日（日）に計画していたビデオの会は、コロナ感染拡大のため、中止にしました。楽しみに待っていただいた方には申し訳ありません。コロナ感染が落ち着いた時期を見て再度計画したいと思っています。その時はぜひお出かけください。